



さんの利用しやすい空港を目指して種々の活動を進めて参りますので、今まで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

と活発化することになります。

市民の皆さんは、この「あきた北空港」に地域活性化の大きな期待を寄せられていることと存じます。しかし、開港当初は多くの利用客が見込まれているところですが、空港を活用して地域活性化を図るためには、東京二便化の早期実現や、冬期間の利用客の確保、運航時間帯、空港を使った産業振興などの課題に取り組んでいかなければなりません。

これまで、市民の皆さんに一丸となって取り組んでいただきましたフライト預金運動や署名活動、要望活動などは、空港開設の大きな原動力となりました。今度は、この大きな力と熱意を空港の利用促進運動、つまり飛行機を使っていたく運動に向けていただきたいと思います。

そこで市民の皆さんにお願いしたいことは、一年に一回以上は家族連れで、グループで、そして仕事でと、この空港を利用して全国各地に出かけ、どんどん行動範囲を広げてほしいということです。それに加え、皆さんのお知り合いの方にこの空港の開港と利用を呼び掛けてほしいと思います。

今後は、当市ばかりでなく、秋田県北部の各市町村、民間団体が丸となって、皆

「あきた北空港の開港を祝って」

大館商工会議所
会頭 中田 直行



秋田県北地域の高速交通体系の早期構築は圏域住民の長年の悲願でありました。このたび大館能代空港の開港が七月十八日に決定したことは、大館能代空港建設期同盟会が中心となり、運輸省をはじめ関係機関に対し積極的な誘致運動を展開した結果が実を結んだものであり、この運動に参画してきた構成団体の一人として心から敬意と祝意を表したいと思います。

当商工会議所としては、日本海沿岸東北自動車道の早期開通と併せ、空港の誘致についても最重要課題として取り組んできました。ここに至りて陸路に先立ち首都圏をはじめ近畿圏、北海道の三路線同時就航が現実のものとなったことは、企業間競争が激しい航空業界にあって、エア・ニッポ

ン株式会社のご理解と大英断によるものであり、心から謝意を申しあげたいと思います。

とりわけ、秋田県北地域は高速交通の空白地帯としてヒト・モノ・学術・文化などの交流が他地域に比し遅れをとっておりました。このたびの開港により時間距離が短縮され、地域の活性化にとって大きな恩恵をもたらすことは言うまでもないことと思えます。

六月十四日には開港を祝う記念イベントが空港を会場に盛大に挙行されました。当日は雨天にもかかわらず二万六千七百人ものかたが、大きな期待をもって参加してくださいました。このことは空港への関心がいかに高いものであるかを物語ったのではないのでしょうか。

今後は、需要の掘り起こしが増便等へ向けての大きな課題になります。そのためには、引き続き官民一体となった利活用の促進運動が必須条件となります。また、首都圏などからのリピーター（固定客）の確保も継続的に推進していく必要があります。四季を実感できる地域は秋田県北をおいてはないと自負してもよいのではないかと思います。このような快適な環境の中に企業の立地も十分可能です。圏民一人ひとりが「広報マン」となり秋田県の北の玄関口としてその機能を最大限発揮し、地域の活性化に貢献できるよう全力を傾注していくことを銘記し、開港を祝う言葉といたします。